

【資料6】

2021年度から少人数学級の独自施策を拡充する自治体（15道県）

（2021・2・28「しんぶん赤旗」より）

■少人数学級拡充の動き

	現在	2021年度以降の拡充
北海道	小3、中1は35人	小3⇒35人 22年度は小4⇒35人
青森県	小1～4、中1は33人	小5⇒33人 22年度は小6⇒33人
群馬県	小1～2は30人 小3～4、中1は35人	小5～6、中2～3⇒35人
埼玉県		小3⇒35人（選択制）
富山県	小3～4、中1は35人 （選択制）	小3～4⇒35人（完全実施） 22年度は小5⇒35人 23年度は小6⇒35人
福井県	小3～5は35人、小6は36人、中1～3は32人	小6⇒35人
山梨県	小1～2は30人	小1⇒25人
岐阜県	小3と中1は35人	小4⇒35人（小5～6も段階的に35人に）
愛知県	中1は35人	小3⇒35人
三重県	小1～2は30人 中1は35人	小3⇒35人
香川県	小3～4と中1は35人	小5～6、中2⇒35人
高知県	小1～2、中1は30人 小3～5は35人	小6⇒35人
佐賀県		小3⇒35人
熊本県		中1⇒35人
沖縄県	小1～2は30人 小3～中1は35人	中2～3⇒35人

北海道は学年の学級数に応じた条件を残るもの、学級を分割しない場合は非常勤講師を配置。沖縄県は学級分割でクラス人数が25人を下回る場合は分割せず。選択制は少人数学級か少人数学級かを自治体や学校が選択